

連休明けから1週間が経ち、少しずつ園生活のリズムを取り戻して来ました。  
いよいよ本格的に幼稚園生活のはじまりです。

変化に富んだ園生活になりますので、毎日にその楽しさが分かって来ます。  
体調を整えてあげて、お休みしないで元気な笑顔を見せてくれるよう  
毎日送り出してあげてください。

■お当番と言う活動があります。男女ひとり  
ずつ二人でその日は担任のお手伝いをします。  
順番制で、みんなワクワクドキドキの一日に  
なります。

朝と帰りの会の司会、トイレに行く時の引率、  
給食配膳のお手伝いと司会、  
そうして、バス・ノートのお手伝いなどです。

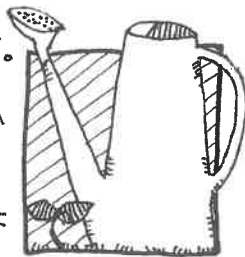
バス・ノートと言うのは、保育中の家庭か  
らの伝言を伝える「小さなノート」です。  
毎朝、ひとりで2階の職員室へ届けに  
行きます。

午後の帰りの会の前に職員室へ取りに行きます。

「おはようございます! ●△くみの●×です!  
バス・ノートもってきました!!」  
「こんにちは! △○くみの×口です!  
バス・ノートください!!」

ひとりで職員室へ行って用を足す...これは  
ことごとちにとって精神的なチャレンジなんです。  
すね。

この時期 言えないおとたちと! また虫蚊が  
泣くような小さな声でポソポソとおとたち  
が涙山です!



でも、日が経つにつれ声も少く  
大きくなっていくし表情も明るくな  
ってきます。

ことごとちの育ちが楽しみな一面です。  
職員室の皆は楽しみにしているし、

その内につぼみのおとたちと仲間入りします。

つぼみ組は男女ひとりずつ2名が、スタッフと一緒に  
芝生のつぼみ通路から階段を登って、2階の  
廊下もあるいて職員室へ来ています。

最初は何を言っているのさばりチンパン!? だけど、  
とと可愛いひとときで、心が和みます♡

(心の育ちシリーズ)

## スマホに子守りさせないで

内田 伸子  
安心子育てより

ある日の電車の中でのこと。バギーに赤ちゃんを乗せ、おしゃべりに夢中なお母さんたちがいました。  
やがて赤ちゃんがむずかかって泣き出した時、二人とあやすのではなく、スマホを取り出して赤ちゃん  
の手に握らせました。すると、どちらの赤ちゃんも泣き止んでスマホの画面に夢中に...

こんな光景を電車の中や街中で目にする事が多くなりました。

この数年で生活の必需品となったスマートフォン。そしてすぐにインターネットにつながるタブレット端末も、  
多くの家庭で見かけるようになっています。

さまざまな情報や画像、動画を気軽に検索できて、いつでもアクセスでき、大人にとっては  
非常に便利で有用な道具。ママたちが手放せない気持ちも良くわかります。

ただ、子供向けだからといって、長時間画面を見せていると、赤ちゃんの心身の発達に良くありません。

いくら子どもを抱いていても、スマホに夢中では本当に触れ合っていることにはなりません。

例えば公園で、赤ちゃんが猫を見つけてびくびくして、「あれ! これ何!」との表情を浮かべても、気づく  
ことが出来ません。

さらに、赤ちゃんにおっぱいを食わせるがら、スマホをいじっているママを見ることがあります。  
ママの注意がスマホに向けられている為、授乳中であっても、授乳ホルモンのプロラクチンの  
分泌が悪くなり、おっぱいが出にくくなります。

そして、かまじり出された赤ちゃんが、「ママ! 見て!」とママの方を見たとしても、スマホに夢中だと  
赤ちゃんの気持ち可哀なオトシ、ママとわが子の素晴らしい瞬間見逃すことになってしまいます。  
こんなとたいない事はありません。

「1歳未満の赤ちゃん: スマホの刺激過剰の演出を30分以上浴びせると、言語や  
知能を司る脳波の部位が萎縮した」と言う知見が、アメリカペンシルベニア大の  
調査から発表されております。

目と目をしっかり合わせ、時間と空間と心を共有しましょう!!